

後期児童会長として

外で遊ぶ人を増やしてみんなが仲の良い学校にしたいと思い、児童会長になりました。児童会の役員と話し合って週の初めと終わりのあいさつを元気よくしようという決り、あいさつ運動を月曜日と金曜日に行っていました。そのおかげで、1学期のときよりもみんなのあいさつが少しよくなりました。また、みんなが仲良くなるために今まで週に1回だったレクを2回に増やしました。1年生でも楽しめるレクをするために全校のみんなにアンケートを取りました。1年生も楽しくレクに参加してくれました。

普段の生活では、姿勢や返事などみんなのお手本になろうと思ひ、学級の友だちと声をかけ合いながらお互いに意識して過ごすことができるようになってきました。児童会長を経験して、全体をみながら行動する力がついてきたと思います。中学校に行ったら、児童会長としてできるようなことになつたことを生かして友だちと声をかけ合い、助け合っています。

(南郷小学校 6年 別府 紗恵)



人権参観日

まず授業は、先生が一枚の写真を掲示してフォトランゲージ(※)から始まりました。着物を着て少し緊張しているようなおばあさんの、寂しそうな表情にどんな人なのか興味が湧きました。戦時中にも、画家を夢見て努力していた若者はたくさんいたそうです。その絵は、画家になる夢の途中で戦死した蜂谷さんが、出兵するまでの間に一生懸命描いた遺作「祖母の像」でした。おばあさんはどんな気持ちで孫の蜂谷さんの前に座っていたのか。きつと温かい思い出をふり返ったり、「出兵させたくない」と心の中で叫んでいたと思います。蜂谷さんの「生きてもう一度描きたい」思いが込められている気がしました。

午後は堀内佳さんのコンサートでした。自分を好きで前向きに明るい佳さんがかっこよく見えました。歌がうまくてよく声が出ています。「無理じゃなくてやってみる」「自分をさらにになるな」と伝えてくれました。命の重み、大切さを感じた心に残る一日になりました。

(田ノ口小学校 6年 谷 心花) ※写真を使って行う学習法



3年間の大きさ

高校3年間は、これまで決まった道を歩いてきた私が自分で自分の道を変えた、短いようで長い3年間だった。一番の思い出は最後の体育祭。私は今まで行事が苦手だったが、今回は「楽しみたい」という思いで取り組んだ。体育祭の準備と受験の両方を頑張った毎日充実していて、今までに感じたことのない楽しさだった。「頑張ることが楽しい」と初めて思った。その結果、体育祭では優勝することができ、自分自身を成長させることもできた。

この3年間で、私の人生は大きく変化した。自分の弱いところにも、強いところにも気づくことができた。これからの目標も、見つけることができた。この学校で、みんなと過ごした3年間の大きさを実感する。この3年間の思い出を大切に、これからたくさん新しいことに挑戦し、新しい仲間と新しい環境で頑張りたいと思う。そう思える3年間だった。

(大方高校 3年 杉村 美優)

